

ハンドボール



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 22 No. D13 (16名用)

スローオフチーム **埼玉**

A	佐賀県	埼玉県	B
合計	35	21-18 14-19	37

A **佐賀県** 7mTC **岩下真次** B

確認サイン

A	佐賀県	警告	退場	失格	チームタイムアウト	
					前半	後半
役員A	元島 力彦				25	22
役員B	谷川 一寿				18	16
役員C	金 明彦				得点	
役員D	長 相厚				前半	後半
1	杉野 雅之					
2	中島 新之助					
3	四端 利彦					
4	石川 行平					
5	松本 信行					
6	村上 泰行					
7	藤山 士郎					
8	柳 正太郎					
9	鈴木 有希					
10	海道 泰希					
11	上田 隆					
12	下野 隆					
合計					21	14

B	埼玉県	警告	退場	失格	チームタイムアウト	
					前半	後半
役員A	岩下 真次					
役員B	佐藤 真彦					
役員C	釘藤 相俊				得点	
役員D	尾中 祐三				前半	後半
1	浦和 克行					
2	石川 出					
3	石川 正浩					
4	信太 弘樹					
5	石川 生					
6	豊田 有希					
7	宮崎 希					
8	東長 希					
9	永島 真明					
10	小室 大地					
11	森 洋					
12	石田 新					
合計					18	19

タイムキーパー **石川俊紀** スコアラー **飯島聖一**

マッパ **石川俊紀** 審判員 **石川俊紀** サイン **石川俊紀**

大会名 **第17回国民体育大会 清流国体**
 開催年 **2012**年10月7日(日) 場所 **桜ヶ丘体育館**
 種別 **成年** (男) 女 回数 **準決** 決勝 リーグ

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
4	W	0	52	1	5	9	22
		2	08	2	5		0
		2	45	W	5		3
7	0	1	3	08	W	8	5
4		2	4	34		5	23
9		3	4	48		9	24
		5	5	35	3		8
6		4	6	08		17	25
9		5	7	44		4	26
6		6	8	04			10
		8	8	37	4		27
6		7	8	46			11
		9	9	31	5		11
		9	9	42	W	3	12
7	0	8	10	16		4	28
9		9	11	17		6	29
6		10	11	58		7	30
		12	12	10	6		14
4		11	12	38		7	31
		13	13	7	3		15
2	W	13	13	44	8		17
10		12	14	13		5	18
		14	14	09	8		18
		15	15	18	10		32
3		13	16	03	8		20
11		14	16	33		9	22
9		15	17	30			22
		18	18	24	11		23
6		16	18	31		7	24
		19	19	24	12		25
5		17	19	35		10	33
		20	20	14	13		27
9		18	20	24		4	34
4		19	21	26			29
		21	21	46	14		35
6	W	22	23	15		6	35
6		20	23	13			35
		25	25	22			37
9		21	26	03			29
		26	26	46	16		37
10		27	28	17			38
		28	29	18			38
21				18			

特記事項

(主催者用) 日本ハンドボール協会版-不許複製

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No.21

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月7日(日)	試合記号	D⑬	回戦	準決勝
種別	成年男子	会場	飛騨市桜ヶ丘体育館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
佐賀県			埼玉県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	21	前半	18	37	
	14	後半	19		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
	7mTC				

【戦評】

記載者氏名

吉安 秀光

両チーム順当に駒を進めた佐賀県と埼玉県との準決勝、日本リーグチームどうしの対戦となった。埼玉県のスローオフで試合開始。埼玉県は5番岩永のカットイン、スカイプレーで2点を先取する。対する佐賀県は4番石黒のカットイン、9番鈴木 of 速攻などで連続3得点を上げる。佐賀県は埼玉県のディフェンスをかわし、9番鈴木 of サイドシュートが決まり得点を加える。対する埼玉県は6番豊田 of サイドシュート、3番猪妻 of カットインで応戦するが、14分には12対8とリードを許す。中盤以降、埼玉県は6番豊田 of サイドシュート、速攻で点差を詰めようとするが、佐賀県の6番村上、9番鈴木 of サイドシュートが確実に決まり、前半は21対18と佐賀県が3点リードで折り返す。

後半開始、埼玉県は2番石川の速攻などで3連続得点する。対する佐賀県も5番松信、4番石黒 of ミドルシュートなどで追い上げを許さない。埼玉県は7番宮崎 of ミドルシュート、ロングシュートで得点するも、15分まで31対28と差は詰まらない。17分、佐賀県の退場者が出たところで流れが変わった。埼玉県の4番信太 of カットインなどで連続得点を上げ、22分過ぎに同点とする。その後も3番猪妻 of 速攻などで2得点を上げ逆転する。たまたま佐賀県がタイムアウトを取り、10番海道 of 速攻で応戦するが、流れを取り戻すことができない。埼玉県は好調な6番豊田 of カットインなどで得点を加え、埼玉県が35対37と逆転勝利した。